THE ECONOMY OF FRANCESCO（EoF）

第二回大会(2021.10.02)教皇メッセージ

2021.10.22　半訳rev.2　齋藤旬　[原英文](https://www.vatican.va/content/francesco/en/messages/pont-messages/2021/documents/20211002-videomessaggio-economyoffrancesco.html)

[屋内, 人, 男, テーブル が含まれている画像

自動的に生成された説明](https://www.vatican.va/content/francesco/en/events/event.dir.html/content/vaticanevents/en/2021/10/2/videomessaggio-economyoffrancesco.html)

親愛なる若者達、

愛をもってご挨拶申しあげます。若者達のために開催されたEoF第二回大会で皆さんに、ヴァーチャルにではありますが、お会いすることができて喜びを感じています。ここ数ヵ月間、主導的に精力的に皆さんが準備なさったことに感心しています。皆さんは、経済に新たな魂を吹き込む使命に、情熱をもって全力で取り組んでいます。私は感謝しています。

今回のcovid-19パンデミックは、私達の社会の諸相に深刻な不平等が巣くっていることを顕わにすると同時に、この病を更に重篤なものにしました。動物界から一つのウイルスが出現して以来、様々な共同体が苦しんでいます。失業、貧困、不平等、飢餓が悪化し、必要な医療ケアから閉め出される人が激増しています。その一方で、少数富裕層がこのパンデミックを利用して富を増やし、自分達だけの部外者禁止区域を作っています。この様な困難状況が、兄弟姉妹の困窮を益々悲惨なものにしています。

この2年間、地球のケアとそこに住む全家族のケアに私達はことごとく失敗したと認めざるを得ません。私達は、human cooperation and global solidarityの重要性を忘れがちです。この地上世界では、私達と自然とにa responsible reciprocal relationship（互恵互保全の関係性）が存在することも私達は忘れがちです。そもそも地球は私達よりも先に存在していたにもかかわらず、私達に与えられました。地球がもつ様々なgoodsと私達との関係性を考える上で、これは重要な鍵です。即ち、あるべき経済システムの基本前提となるものです。つまり私達はgoodsの執事（stewards）なのです。主人ではありません。それなのに私達は被造物の所有者だと思い込み、人を殺してもなんとも思わない今の病的経済によって、自分達の利益と成長のために、地球がもつ様々なgoodsを不当利用し続けているのです。こうした中このパンデミックは、深遠な互恵性の絆を私達に思い出させてくれました。万物によって皆に与えられたgoods、これをケアせよと私達は召命を受けている。また、workし、その実りであるgoodsを分け隔てなく誰にでも分配する。私達に課せられたこれらのdutyを思い出させてくれました。

そしてついに私達は、こう気づかされました。私達は一つの共通海の中で生を受けたのだから、新たな兄弟姉妹愛を受け入れる必要があるのだと。私たちは互いに互いを必要としている。私たちは互いに対して、そしてこの地上世界に対して、応答責任を課されている。こう再び気付く絶好の時を迎えたのです。

こうした中、どの資産を共有のものにするのかによって、この地球とpeoplesがどう質的に発展していくのかがほぼ全て決まってしまいます。私たちはこのことに注意して新たな道を模索し、コロナ後の経済をもっとjust, sustainable and solidarity-basedなものに、即ちもっと相互的なものに刷新する必要があります。地球の資源を浪費するのでなく産み出していくもっと循環的なプロセスが必要です。goodsを、もっとフェアな方法で販売し分配し、消費する際はmore responsible behaviour（他者に迷惑をかけない行動様式）が必要です。そのためにはa new paradigm（新たな思考の枠組み）が必要です。即ち、地球と私達とのinterconnectionを尊重した経済学者と事業者との新世代グループを形成することがcapableな、a new, integral paradigm（高次統合的な新たな思考の枠組み）が必要です。つまり本大会“Economy of Francesco”に参加している皆さん、そして同じ意図をもって研究している他の様々な若者グループの皆さんです。皆さんなら、こういった新たな考え方で、これがa new economyの具体例ですと提示することができるでしょう。

今日、母なる地球は、私たちが危険な限界に近づいていることを嘆き悲しんでいます。そして私たちに警告を発しています。 おそらく皆さんは、私たちを救うことのできる最後の世代です。大げさな話ではありません。 この緊急事態に際し、皆さんの創造性と強靭性には重大な応答責任が課されています。 皆さんがこれらの賜物を使って、先達が冒した過去の過ちをcorrectし、より包摂的で持続可能で人々に支援を与えるa new economyに私たちを導いてくれることを、私は切に願っています。

皆さんに課されたmissionは、経済システムのみならず諸々の社会システム全てを刷新することです。新たな価値観、即ちfraternity, solidarityを人々の心に浸透させる。地球および共有資産をケアするためにそれら全てを諸々の社会構造に組み込む。こうすることによって私達は、今の時代の幾つもの最重要課題、即ち、飢餓や栄養失調、はたまたコロナワクチン接種の衡平分配（equitable distribution）等を解決することができるでしょう。私達は、皆が一緒になって取り組み、大きなスケールで夢を描く必要があります。意識の焦点をイエスに合わせれば、私達は必ず、新たな地上世界の制度設計に関するthe inspirationを見いだし、より良い未来に向けて地上世界を旅する力を獲得するでしょう。

今一度皆さんに、young peopleに、兄弟姉妹愛を経済の中心に据え直す仕事を託します。今かつてなかったほどこうしたyoung peopleが必要だと私達は感じています。a different economyがこの形而下社会にも存在しうることを研究と実践を通して実証する。その実証方法を知る皆さんが必要です。決して諦めないで下さい。傷だらけの歴史に立ち向かい再び立ち直らせる全変革に向けて、私達を駆り立てる跳躍板、即ち、福音の愛をガイド役にして進んでいって下さい。新時代の構築にむけて創造性をもって乗り出して下さい。困窮者の声に耳を傾け、共通の未来の構築に彼らも加えるよう取り組んで下さい。私達の時代は、新たな経済システムが喫緊の重要課題です。従って、諸々の会社、学校、工場、銀行、市場などにおいて福音の精神を活かそうとする経済学者の新世代グループが必要なのです。

本大会でも紹介された新たな商業の在り方に耳を傾けましょう。それに対して、イエスは「神殿から出て行け」とは言いません。なぜなら皆さんは、イエスの友であり神の国の仲間だからです。

親愛なる若者達、その考えと夢を顕現させて下さい。この地上世界に、そしてthe Churchと他の若者達に、皆さんがcapableだと思う預言と美を届けて下さい。皆さんは未来ではなく現在です。別のもう一つの現在です。今この地上世界は皆さんの力を必要としています。「今」です。Thank you.

*L'Osservatore Romano*, Weekly Edition in English, 15 October 2021